

【クラフト紙はブラウンだけじゃない】

封筒屋通信をご覧いただき、誠にありがとうございます♪
 今月は渋めなラインナップとなっております！

【ピオトープ GA-FS】

クラフトパルプを配合しているため、しっかりとした強度があり、45kgの薄物から210kgの厚物まで幅広く展開がございまして、FSC森林認証紙でもあるため、用途の幅も広がりますね。
 全18色の深みのある色合いは、デザインのアクセントになります。

【ハーフトーンカラー】

封筒屋さんは一番目にするであろう、ポピュラーなカラークラフト紙です。
 優しいパステル調の色展開は、18色ございまして配色のバランスが良く、複数種類の封筒を作成する際には色分けもできるので重宝しますね。
 内側にグレーの印刷を施している透けにくい紙「ハーフトーンカラー99N」もございます。



【ファーストヴィンテージ】

未晒パルプと晒パルプを配合したクラフト紙のため、丈夫でしっかりしています。
 素朴なクラフト調の色味から、絵画のような淡い色味が特徴で、56kgから270kgまで厚みの展開がございまして、様々なシーンでお使いいただけます。
 無地やシンプルなデザインですと紙の色を活かした温かみのある封筒やパッケージが作れますね。

今月の封筒サンプル

「ハーフトーンカラー」と「ファーストヴィンテージ」を使用し、長4封筒と洋6封筒を作成いたしました！

【長4封筒】は90×205mmで、4つ折りのB5用紙がぴったり入り、【洋6封筒】は190×98mmで縦2つ折りのB5用紙がぴったり入ります。
 こちらのサイズは一般的な長3封筒の中に封入することができるため、主に返信用封筒などで使用いただいております。（規格内郵便として、そのまま郵送することもできます。）

既製品封筒のお取り扱いもあるサイズですが、オーダーメイドですと紙を自由に選ぶことができ、宛名が見える窓や、簡単に開封できるジッパーをつけることも可能です♪
 お客様だけの特別な封筒やパッケージを作成してみませんか(。ω。)

(蓮池)

今月のサンプル請求・感想はこちらから→→→



▼現場レポート

【シンプルイズ...】

封筒サンプルについて現場の皆さんにお話を伺いました！

▼断裁・エキセン（Kさん、Tさん）

オンデマンド印刷が絡む案件は、トナーの乗り具合によって断裁時に苦戦するイメージを持っていますが、今回はベタ印刷の面積も少なかったため、特に大きな問題は起きませんでした。
 予定通りスムーズに次の工程へ渡すことができています。

▼製袋・タテ型（Wさん）

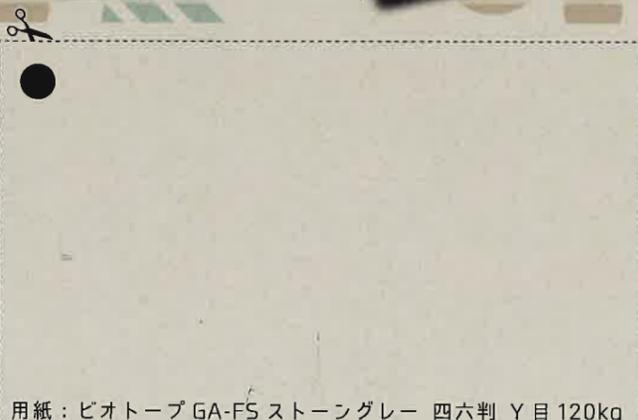
糊付け自体は順調でしたが今回は「フタを折る筋の位置」と「デザイン」が密接に関わっていたので、その調整に神経を使いました。

少しでもズレると、フタ側に本来見えてはいけない印刷が回り込んでしまい、デザインの意図を損ねてしまいます。
 筋位置をミリ単位で微調整しながら、慎重に生産を進めました。

▼製袋・ヨコ型（Yさん）

紙の質感に対する糊の接着具合や、印刷面による紙の滑りなど、常に警戒すべき点はありますが、今回の仕様につい

ては比較的安定していました。
 封筒サイズも無理のない範囲だったので、機械の速度を落とすことなく、巡回稼働で一定の品質を保ちながら、仕上げることができました。



用紙：ピオトープ GA-FS ストーングレー 四六判 Y目 120kg

気になるトナリの封筒 ザ・ワールド

ポルトガルの封筒

今月ご紹介するのは、ポルトガルの封筒です。
 白地に映えるセピア色のイラストと、色鮮やかな3枚の切手。
 これは1975年に発行された「欧州建築遺産年」を記念する封筒です。



この封筒は、ヨーロッパの歴史ある建物を未来へ守り伝えることをテーマにデザインされているようで、特に注目していただきたいのが切手の上に押された消印のデザインですが、よく見ると、アーチ状の建物を優しく支える「手」が描かれています。
 これは「大切な遺産をみんなで守ろう」という当時のメッセージが込められた消印だそう。

ちなみに、フタ部分にはポルトガルの郵便局（CTT）のロゴマークが誇らしげにプリントされているのも歴史ある国らしい格好良さがあります。

以前、私は淀屋橋の方に務めていたことがあったのですが、中央公会堂や中之島図書館、日本銀行などの歴史と美しさを兼ね備えた建物が沢山あったなあこの封筒を眺めて思い返しました。
 都会の中に溶け込みながらも凜としたその佇まいは、今思えばとても贅沢な景色だったのですが、当時は毎日当たり前のように何気なく通り過ぎていたことが少し悔やまれます（笑）
 (角谷)

作品事例【宗教法人金剛宝寺様】

今月は「宗教法人金剛宝寺様」の封筒をご紹介します！



既製品封筒への刷り込みで「長4封筒」、「長3封筒」、「長3窓付き封筒」、「洋6封筒」、「角2封筒」の合計5種類の封筒を作成いたしました！



長4封筒は90×205mm、洋6封筒は190×98mmと小さいサイズのため、長3封筒に封入することが可能です。

こちらの小さい封筒は主に返信封筒としてご依頼いただくことが多く、料金後納・別納マークや料金受取人払などの内容を印刷いただいております。
 ※長4封筒も洋6封筒も規格内のサイズに収まるため、そのまま郵送いただけます。



パステル調の優しい封筒の色と封筒色に合わせた印刷色は柔らかい印象を与えます。
 黒い印刷も、かっちりとした内容ではありますが、あたたかみのある仕上がりとなっております。
 薄いインクと濃いインクで色分けするのも素敵ですが、濃度の差をつけることで、1色でもカラフルに見えますね。



今回ご依頼いただいた5種類の封筒は、既製品にてお取り扱いのあるサイズです。
 こちらのサイズであれば、白やクラフトだけでなくパステルカラーの展開もございまして、コーポレートカラーに合わせて封筒色を揃えることもできますし、宗教法人金剛宝寺様の様に、用途別で色を変えることも可能です。

角2封筒以外は通常のパステル調の封筒ですが、角2封筒は内側にグレーの印刷が施されており、内容物が透けにくい仕様となっております。
 こちらは小さいサイズの取り扱いはございませんが、長3や角2封筒にてご購入いただけます。△オーダーメイドでしたら、透けにくい紙での作成が可能です。

各種封筒の作成を検討されている方や、こんなサイズの既製品はあるの？といった疑問に答えます。お気軽にお問い合わせくださいませ(。ω。)

(蓮池)

◆編集後記◆

今月も封筒屋通信をお読みいただきありがとうございます！
 サメ好きな編集長ですが、実はコーギーも同じくらい大好きで、私のSNSのおすすめ欄はいつもサメとコーギーで賑わっています(*´▽`*)もともと犬が好きで、小さい頃から何かと買ってもらうのは犬のぬいぐるみだったと思います。
 犬種の判断が付くようになってからは、天真爛漫のお顔と愛らしいお尻のコーギーに一目ぼれして、街中で遭遇すると破顔してしまうようになりました。(非常に不審者です。)
 いつかは九州方面にある、コーギーのドッグカフェに行きたいです。必ず行きます。
 (蓮池)

▼封筒屋通信

2026年3月号
 (緑屋紙工株式会社 / 株式会社タクセル 共同発行)

緑屋紙工株式会社 封筒工房
 〒https://futo-kobo.com
 オンラインショップ 封筒屋どっとこむ
 〒https://fuutouya.com

緑屋紙工株式会社
 〒TEL 06-6709-8110 FAX 06-6708-9136
 株式会社タクセル
 〒TEL 06-4302-7740 FAX 06-4302-7741

〒547-0021 大阪市平野区喜連東5-16-15(住所同じ)

